

**学校の教育目標** 「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」  
**学校経営ビジョン** 「変化の激しい社会を、たくましく生き抜くための学力や生活習慣を身に付けた生徒の育成をめざす。また、串間市小中高一貫教育と連携型中高一貫教育への取組を通して、郷土愛をはぐくむとともに、人生の目標や夢をもって、地域に貢献できる人材の育成に努める。」

評価項目	計画項目 【方策・手立て】	数値目標	結果	達成状況 (成果…○ 課題…△)と改善方策(★)	自己 評価	学校運営協議会評価委員 のコメント	評価	
ビジョン 実現 の た め の 重 点 目 標	①「分かる」「できる」を実感する授業の改善	主題研究の充実 【読解力の育成を図る授業の取り組み】	授業評価チェック (職員) 平均3.5点以上	授業評価(職員) 平均3.4点	○ 読解力向上を目指して、職員での協議やアンケート集計を重ね、職員全体の授業改善の意識が高まってきた。 △ 生徒の読解力向上(=学力向上)にはまだ課題が見られ、諸検査で数値での結果が表れるまでには、引き続き継続と研究が必要である。 ★ 読解力向上授業の継続とDKR問題(読解力を問う問題)の精選、諸検査結果の生徒及び保護者への啓発等を進め、結果に結びつくような具体的な取組を実践していく。	3.2	○ 本年度は、読解力向上の必要性を教職員が意識して、授業改善を図ろうとチャレンジした年だと思います。今後は、実践を進めながら、生徒への浸透を定期的に評価し、組織として改善策を検討していただきたいと思います。 ○ 串間の場合、小学校の成績が中学校との相関関係が顕著に出ています。「中学校は伸ばす」をテーマに教職員で共通理解のもとに取り組んでいただければと思います。 ○ 授業を度々見せていただきましたが、どの授業も統一された取り組みを意識された授業を展開されており、職員間でしっかりと共通理解ができているなど感心をしたところでした。 ○ 職員が授業改善に向けて目標を共有し、しっかりと取り組んで入る状況は、高く評価できる。今後も日常的、継続的な取組をお願いしたい。学力の定着と結果反映に向け、今後も精励されることを期待したい。 ○ 意識改革ではなく、生徒の学力が身についたと実感する客観的な結果が必要ではないか。 ○ 読解力を身につけるためには日常生活の中に組み込むことが必要。例えば新聞の社説を活用する手段なども考えられる。 ○ 学力向上の課題は何が必要かを確認する必要がある。 ○ 「分かる」「できる」を実感する授業の改善ということで、学校全体で取り組んでおられるが、第1学年から第3学年の成績をみると、全体的に低いのかと思われる。	3
	②授業を中心とした学力の定着	習熟状況を把握・表現活動の場の設定 【月計画での授業時数確保】	生徒の授業理解度 (4・3評価) 80%	2学期平均 1年(92%) 2年(85%) 3年(87%)	○ 授業理解度に関しては、どの学年も80%以上となっている。 △ 内容の定着を図るための家庭学習の時間をとること、家庭学習の内容に課題が見られる。 ★ 学力の定着を図るためのリレー宅習(交換宅習)の継続、家庭との連携を図っていく。	2.7	○ 生徒が学びに向かっている傾向を示していると感じます。そのため、今後求められることは教職員の授業力向上であり、新指導要領の開始とともに、改めて主体的・対話的で深い学びの必要性和基本的な授業改善の視点を教育研究所の研究と併せて取り組んでもらいたいと思います。 ○ 率直に言って、この生徒の理解度は非常に高いと思います。自己評価は少し厳しいと思いました。あとはこの結果が様々な学力調査や受検にしっかりと反映するといいですね。たぶん、上位層は他の学力調査の高い学校と遜色はないと思います。下位層の子供たちにいかに迫っていくかが今後の課題かもしれません。 ○ 小学校段階での基礎基本の徹底をさらに図れるよう、一貫教育推進の取組も含めて、レベルを高めていきたい。 ○ 授業理解度を確認するための、単元テストの効果的な活用を図るべきである。 ○ 家庭学習の時間をとるだけでなく、どのような家庭学習を行うのか支援が必要である。 ○ 宅習ノートリレーを実施する際に必要なことは、それぞれの教科で身につけさせたい力のための効果的な学習方法にある。また、第三者が評価することも効果的な方法ではないか。 ○ 理解度は高く、指導力がうかがえる。	
	③基本的な学習習慣の確立	学習の心得の徹底 【委員会活動の定期点検・教師の共通実践】	点検・評価 平均3.5以上 (4段階評価)	学習態度徹底週間 姿勢 3.4 返事反応 3.4	○ 「返事・反応」や「語先後礼」など点検週間を通して改善が見られた。 △ 改善が見られた部分があるが、定着が十分では部分がある。 ★ 「学習の心得」委員会の活動、教師の共通理解・共通実践を徹底していく。	2.7	○ 学習の姿については、串間中学校は県内でも有数ではないかと感じています。教育課程全体、特に体育科の指導が他教科の授業でも生かされていると感じます。 ○ 本校の生徒を見ても、挨拶など礼儀正しい生徒が多くいます。中学校での指導が行き届いているのでしょうね。 ○ 返事・反応、語先後礼はすばらしい。 ○ 学習習慣という場合は、「復習の在り方(その日、週末、授業前)」「3点固定(起床・勉強・就寝)」等ではないか。 ○ 点検習慣の継続が必要である。	
	④意欲的に学習に取り組む生徒の育成(中高連携)	第3学年数学・英語の授業の充実 【乗り入れ授業の実施】	生徒の満足度 (4・3評価) 80%	数学 91% 英語 88%	○ 生徒アンケートの結果、肯定的な意見が多かった。 △ 授業が分からないと回答した生徒も少数いる。 ★ 少人数指導等で改善を図ってきたい。	2.9	○ 乗り入れ授業については、目的と手段を福島高校と見直していく時期でもあるかと感じます。組織的な協議が必要かとも思います。 ○ 乗り入れ授業のおかげで、本校に入学する前から生徒の状況がわかり非常に助かっています。生徒も高1ギャップ?をほとんど感じない様子でスムーズに高校生活をスタートできている様子なので、この乗り入れ授業の効果は高いと思います。 ○ 数学や英語の乗り入れ授業については、生徒の満足度が高い。一方で職員の自己評価が低いのは、数学や英語以外の教科(自らが担当する教科等)における生徒の学習意欲が芳しくないことだろうか。 ○ 乗り入れの在り方。高校の教員しかできないことを串間中の売りとしてほしい。 ○ 効果が高いのは、乗り入れ授業実施の成果であろう。	

豊かな心の育成	①命を大切に作る学校づくりの推進	生徒の実態把握と人権週間の取組の充実 【職員研修の実施】	アンケートの実施 生徒用…月1回 教師用…学期1回	生徒には、月1回のアンケートを実施 教師用は1学期に実施	○ 生徒会の取組「コロナに負けない宣言」や教師の指導によりコロナウイルスに関する対応は落ち着いている。 △ 一方で心ない発言をする生徒がいる。 ★ 「コロナに負けない宣言」をしている学校でもあるので、生徒にも意識をさせ、指導を行っていく。	3.2	○ 串間市で本年度は中学生の活躍が目立ちました。生徒会を中心に市のために貢献する姿は、市民にも十分伝わっていると思います。今後も串間の教育の要として、積極的に市の取組等に関わっていただければと思います。 ○ 中学校の生徒さんの活躍の様子を串間市の広報誌で見たり、新聞に掲載されたりと生徒会の生徒さんを中心に、よく活躍されていると感じます。この思いは全校生徒にしっかりと伝わっているのでしょうか。本校でもコロナを逆手に取って人権意識を高めるように指導はしていますが、どこまで浸透しているかは確かではありません。シトラスリボンなど形に残るものはいいいですね。私も大切に付けさせていただきます。ありがとうございます。 ○ 生徒会活動と連動させ、生徒の主体的・積極的な活動として「人権」や「命」について考えさせる工夫は、たいへんすばらしいと思う。「コロナに負けない宣言」やシトラスリボン運動などで高まった人権尊重の意識が、日常生活における「思いやりの言動」に今後もさらにつながってってくれるものと思う。 ○ コロナに負けない宣言、シトラスリボン等生徒の意識化のための活動がすばらしい。 ○ 生徒会が中心となり、主体的な活動がよい。 ○ 今後も継続してもらいたい。
	②道徳教育の推進	道徳性の育成【月計画での授業時数確保】	35時間以上確保	2月末まで週1回ペースの実施概ね達成	○ 道徳の授業を実施できない週もあったが、授業時数は概ね確保できた。 △ クラスによっては授業時数のばらつきがあった。 ★ 時間割担当を中心にクラス間の授業時数のばらつきをなくしていく。	3.4	○ 教職員が、教科化されて評価等が必要である事だけではなく、なぜ、そうなったのか、だから教育課程全体で道徳科をどう意識し、授業実践していくかを検討した上で、授業の在り方を協議していくことが必要かと思えます。 ○ 福島高校の生徒のほとんどが優しい心の持ち主です。たまに、心許ない発言をする生徒もいたりしますが、他の高校よりは優れていると思います。これも中学校での指導が行き届いている証拠だと思えます。おかげでいじめなど特別な指導を一度もしていません。本当にありがとうございます。 ○ 評価項目としては「道徳教育の推進」なので、道徳の授業が計画時数どおり実施できたか否かだけの評価基準ではやや物足りない気がする。 ○ これからも別業を活用し、学校行事等と繋げた効果的な道徳の授業の実施をお願いします。 ○ 道徳は大事であるので、継続してもらいたい。
	③図書館利用推進と積極的活用	朝読書の取組と委員会活動による利用推進【朝読書、ブックトーク実施、図書通信作成】	月間貸出冊数100冊	月間100冊以上を達成	○ 朝読書、ブックトーク、図書通信などの図書委員の積極的に活動している。 △ 図書館利用が少ない。 ★ 読書週間後、引き続き本を読む習慣を定着させる手立てを考えていく。	2.6	○ 読書をしての成功体験をどのように積み上げていくかが、主体的な読書につながるかと思えます。読書をして自分の考え方、生き方等に影響を与えた経験を大事にしてほしいと思えます。 ○ 本校も朝の読書に取り組ませていますが、日頃から読書する姿勢はまだまだだと感じています。図書館の利用を担当の先生が工夫して呼びかけていますが、図書館に自然と向かう何かいい手立てがありましたらご指導ください。 ○ 私的な時間に読書をするのがなかなか難しいのが中学生だろうと思う。であれば、朝読など学校の時間の設定やブックトークなど、読書の楽しさや喜びに触れさせることに引き続き力を入れることが大切だと考える。 ○ 読書を積極的に行うしかけが欲しい。 ○ 図書館利用の促進を望む。
健康と体力の向上	①部活動の活性化とスポーツ水準の向上	体力・運動能力の向上 【授業方法の工夫とグループワークの活用】	保体の授業に意欲的に取り組む80%以上	体育大会後のアンケート80%以上	○ 体育大会アンケートでは、満足している生徒が80%を超えた。 △ 指導方法の研修及び工夫に力を注ぐ必要がある。 ★ 体力向上のための運動を授業導入時に行っているので引き続き継続し、体力や運動能力の向上につなげていく。	3.2	○ 体育大会に集約されているように、体育科が教育活動の柱になっているのではないのでしょうか。生徒指導面も含めて。技術・体力向上だけでなく、友とともに、一つの事を成し遂げる経験が日常的に実践されている体育科の成果が結果にも表れていると感じます。 ○ 体育大会を始めて参観させていただきました。子供をメインに運営をされており、自主性が育っていると思えました。いずれの競技も皆真剣で、見ていて楽しく、すがすがしい気持ちになりました。すばらしい体育大会だったと思います。 ○ 自分自身が体力・運動能力の向上が必要だと考える生徒の育成をお願いしたい ○ 体育大会の見学から、日ごろの指導力の高さが見られる。
	②食育の推進	食と健康の関連について授業を通して認識を深める。 【事前学習の充実「学級活動」】	「弁当の日」実施2回/年 一品以上つくる生徒80%	11月、2月実施 81%（11月） 81%（2月）	○ 学級活動の事前学習で、「弁当の日」についての指導を全学級で行うことができた。 △ 全く弁当づくりに関わっていない生徒もいる。 ★ 事前学習の実施と家庭、保護者への啓発活動を行い、さらに充実した取組にしていく。	2.9	○ なぜ、弁当の日を推進しているかの根本的なことをしっかりと伝えていくことが必要だと感じます。 ○ 福島高校でも弁当の日を実施する予定です。実際やってみて作ることの大変さ、家族への感謝の思いが溢れてきました。生徒も自分で作ることで親への感謝の思いや食べることの大切さを実感すると思えます。2回するのですね。参考にさせていただきます。 ○ 弁当の日は、親に感謝する心を育むのに大事である。
	③保健管理の充実	疾病予防 【フッ化物洗口の計画的実施1回/週】	虫歯保有者20%以下	虫歯保有者 1学期9.6% 2学期7.2%	○ 治療告知用紙を配付し、保有者を減らすことができた。 △ 保有者を減らすことができたが治療率のみみると25%である。フッ化物洗口は、コロナ禍のため今年は未実施。 ★ 学年、学級からの啓発を連携して取り組みたい。	3.0	○ フッ化物洗口の成果が大きいことを改めて感じました。特定の家庭が生徒の一生を見通して、治療に前向きになってもらいたいと切に願います。今ではなく10年、20年後を見て！ ○ 虫歯保有率非常に少ないと思います。日頃の予防が行き届いているのですね。 ○ 未治療の生徒が非常に少ないことに驚いた。小学校との連携及び情報共有をさらに進め、未治療者の減少をさらに進めていけるとよい。 ○ 虫歯のことから、転用して健康に対する意識の高い生徒、けがや病気の予防が自らできる生徒の育成を目標としてほしい。 ○ 虫歯保有者が少ないのはすごい。

	④部活動推進 (中高連携)	重点活動の計画と実施 <b>【全部活動において合同練習会】</b>	各部1回以上/年	中高両方に存在 する部活動 3/12部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3つの部において実施することができた。(弓道、女子バレー、バドミントン部)</li> <li>○ コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、できていない部がある。</li> <li>★ 来年度は、中高合同部顧問会を開き、計画的な取組を推進する。</li> </ul>	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動指導員の配置とともに、次年度の部活動顧問連絡協議会の開催と実践を切に願います。</li> <li>○ 3つの部について、いつも声をかけていただき、そして一緒に活動をしていただき感謝申し上げます。他の部も同様に活動できれば今より福島高校に目が向くのではと期待しています。学校の活性化は部活動によることも大きいので、今度の中高合同部顧問会には期待しています。</li> <li>○ 部活動の活躍は、生徒にとって仲間中学生としての自信と誇りを感じさせるものになっていると思う。それらが、授業も含め、学校生活の中での主体的で意欲的な取組につながっていくとすばらしいと思う。</li> <li>○ 今後も乗り入れ授業を含め、部活動やその他の活動において中高連携がさらに加速することを大いに期待したい。</li> <li>○ 中高一貫のメリットとして、中学校3年生の総合体育大会後に高校の部活動に入部できるようにしてほしい。バレーは高校のネットで練習が出来るなどメリットが大きい。</li> <li>○ 中高一貫として、吹奏楽等文化系部活は合同でできないか。中学生は高文祭にも参加させることが可能。</li> </ul>
キャリア教育の推進	①小中高一貫教育の推進	『くしま学』体験活動の充実 <b>【地域学校協働活動の連携した職場体験学習の実施・小中高連携したウォークラリーの実施】</b>	生徒の満足度 80%	1年生 95% 2年生 87%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生のウォークラリー、2年生の企業ガイダンスは生徒の満足度が高い結果となった。</li> <li>△ 職場体験学習では、地域学校協働本部との連携が課題として残った。コロナ禍の影響もあり企業ガイダンスを実施。</li> <li>★ 年度当初の企画、検討を市教委（担当者）と行う。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本年度は50%の内容での実施を市教委としてお願いしたが、中3の議会提言に表れているように、すばらしい内容で調査研究を進めてくれた。</li> <li>○ 福島高校の地域創生学につながる力を育成することを念頭に次年度も取り組んでもらいたい。また、中3の取組はまさに地域創生学の予行練習であるので、次年度は、生徒間交流を推進するため、その様子を福島高校生徒も見学してもらいたい。</li> <li>○ 生徒の満足度が高いのですばらしいと思います。本校では、入学後進路未定の生徒が2年生になっても多かったのですが、今年度から職場体験学習はやめて1年生で進路発見デイとして丸々二日間かけて進路を見つめる期間を設けました。これは非常に良かったです。おかげで、1年生の段階から自分の進路先を具体的に書けるようになりました。</li> <li>○ 中高連携や小中高一貫教育の推進を土台としたさまざまな取組が、計画的、継続的に行われており、すばらしいと感じた。活動内容面でのさらなる充実を図ることで、キャリア教育のより一層の推進が期待できると思う。</li> <li>○ 体験活動は、体験に価値があるのではなく、その後のまとめが大切。つまり体験を「情報収集」として捉えるとよい。</li> <li>○ 職場体験は将来のためによい事業である。</li> </ul>
		<b>総合的な学習の時間における『くしま学』の取り組み【年間計画に基づいた実施】</b>	標準授業時数 100%	2学期まで 100%実施 (休校期間中を除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 休校期間もあったが、授業は計画通り実施できた。くしま学が本年度から新しくなり戸惑いもあったが、制約がある中でもしっかりと実施することができた。</li> <li>△ 現行の指導計画だと実施が難しい部分がある。</li> <li>★ 今年度の取組をもとに計画的な実践に取り組む。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くしま学の活動が高校の地域創生学につながるように工夫されたとのことで、より探究心をもって入学してくれることになりありがたく思います。プレゼン能力など身につくので、推薦入試などを活用し進路実現にうまくつながることが期待できます。</li> <li>○ くしま学の実施はすばらしい。特に中3のくしま未来議会については、来年度は高校生にも見学をさせたい。</li> <li>○ 生まれた仲間市を知ることが将来に役立つ施策が必要。</li> </ul>
	②地域を大切に、地域に貢献しようとする態度の育成 (中高連携)	地域と連携したキャリア教育の授業の実施 <b>【進路指導、高校説明会の実施】</b>	生徒の満足度 80%以上	3年生 96%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校説明会を実施できた。高校の地域創生学を見据え、3年生のくしま学を実施することができた。</li> <li>△ 福島高校に3年が行っている「くしま学」の内容を周知できていない。</li> <li>★ 本年度「くしま学」で行った各学年の取組を共有する機会を作り、来年度の見通しを持てるようにしたい。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福島高校の魅力を紹介し、進路の選択肢にすることは継続してもらいたい。結局は中高の共通理解が必要だと思いますので、教職員間の協議の場が数多く設定されるといいですね。</li> <li>○ 生徒の満足度が非常に高いですね。工夫をされて取り組まれている結果だと思います。書かれているように本校と連携を強化し、共通理解が図られるといいですね。</li> <li>○ キャリア教育は特別活動での「働くことの意義」等に時間をかけたほうがよい。またキャリアデザイン等を考えると全国的な流れが見えてくる。</li> <li>○ 地元を大事にする生徒の満足度が96%はすごい。</li> </ul>